サブファンド・ブロックチェーンの受益者の皆様へ

令和8年11月11日
代行協会員兼販売会社
スーパーファンド・ジャパン株式会社

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年10月30日の、弊社が代行協会員である「サブファンド・ブロックチェーン」において、基準価額が前月末比20%超の下落をしたことをお知らせします。

Date	ﾄﾞﾙ建てクラス基準価額	対前月末比	円建てクラス基準価額	対前月末比
2026/9/30	1.31	—	143.51	—
2026/10/6	1.32	+0.76%	144.45	+0.66%
2026/10/13	1.19	-9.16%	130.51	-9.06%
2026/10/20	1.05	-19.85%	115.38	-19.60%
2026/10/30	0.94	-28.24%	103.03	-28.21%

・市場動向についてのコメント
10月30日の米国の主要株式市場は下落して取引を終えました。投資家は最新の決算報告を消化し、インテルをはじめとする主要テクノロジー企業への売りに注目しました。
インテルは第4四半期の業績見通しが市場予想を下回ったことを受けて、株価が 30%超急落しました。アマゾンは第3四半期の純売上高 2,019億ドルを報告し、アナリスト予想を下回りました。

大手テクノロジー企業の決算内容が投資家の期待に十分応えられなかったことから、テック株に対する投資家の関心が冷え込みました。 ハイテク株中心のナスダック総合指数は、8月初旬以来の安値圏に迫り、半導体関連株も週間ベースで軟調な展開となりました。
ダウ工業株 30 種平均は終値時点で 1.09%(571 ポイント)下落し、NVIDIA は 4.2%下落、ナスダック 100 指数は 3.46%下落、インテルは 28.58%急落しました。
また、S&P 500 指数は 1.82%下落し、Reddit は 29.29%下落しました。
このような市場環境の中、ブロックチェーン関連株式も下落傾向が継続し、ファンドの基準価額は20%を超える下落となりました。

米国を中心としたハイテク業界に対する中長期的な成長期待は依然として高いものの、足元では大手テック企業を取り巻く市場環境や米国中間選挙の動向を背景に、市場の不確実性が高まり、価格変動の大きい状況が続いています。
今後もマーケット環境に注力し、情報提供に努めてまいります。
よろしくお願い申し上げます。

スーパーファンド・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 98 号
東京都港区虎ノ門二丁目 9 番 1 号
虎ノ門ヒルズ江戸見坂テラス 11 階
加入協会等 :日本証券業協会

本資料は、受益者の皆様に投資環境に関する参考情報の提供のため作成された資料です。投資勧誘や特定の推奨を目的とした資料ではありません。本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいてスーパーファンド・ジャパン株式会社が作成しておりますが、情報の正確性を保証するものではなく将来の予測、保証をするものでもありません。投資信託のお申込をご検討の際には、投資信託説明書【交付目論見書】の内容をご確認ください。 (出典:バハニュース)